

ヲ聽ス、平城天皇大同三年ノ太政官ノ奏文ニ、大同元年大納言已上職封復舊加畢ノ語アルニ依レバ、是ヨリ先ニ職封ヲ減ゼシ事ノアリシナリ、是ヨリ後ニハ減封ヲ請フ者頻ニ有リテ、或ハ減半ヲ請フアリ、或ハ減半ヲ經タルノ後ニ、更ニ減半ヲ請フアリ、或ハ太政大臣ニシテ左右大臣ノ封ヲ得ント請フアリ、或ハ大納言ニシテ中納言ノ封ヲ得ント請フアリ、其中ニハ允サル、アリ、允サレザルアリ、而シテ新ニ其官ニ昇リタル者ハ、必ズ減半ヲ請フヲ以テ故事トシ、太政大臣モ左右大臣ノ封ヲ得ルヲ以テ例トセルガ如シ、拾芥抄ヲ按ズルニ、其數大ニ令式ヨリ減ゼリ、何レノ時ニ此ノ如ク改マリタルニカ、今知ルベカラザルナリ、夫レ職封バ固ヨリ官ニ因リテ賜フ所ナレバ、人ニ讓ルコトヲ得ズ、其官ニ居レバ必ズ之ヲ受クベシ、而ルニ中世ニハ、之ヲ子女ニ割與スル者アリ、之ヲ寺ニ施ス者アリ、身三台ニ居リテ一戸ノ封ナキ者アリ、亦以テ世變ヲ觀ルベシ、猶ホ封戸總載篇、職田篇ヲ參看スベシ。

〔令義解四〕凡食封者○略 中 其無故不上二年者則停給、謂兼爲封祿立例、其封者不入此例。

〔令義解四〕凡食封者○略 中 太政大臣三千戸、左右大臣二千戸、大納言八百戸、若以理解官、及致仕者減半、

〔類聚三代格八〕太政官謹奏

應賜位封依令條事○略 中

〔續日本紀三文武〕慶雲二年四月丙寅勅○中 更置中納言三人○略 中 太政官議奏○略 中 其任擬正四位上官別封二百戸、資人三十人、奏可之。

〔延喜式二十三〕凡食封者○略 中 中納言四百戸、參議八十戸、以理致仕者減半

〔大同元年、大納言已上職封復舊加畢○中 略

大同三年十月十九日